

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 山本 知也 殿

隊員氏名 大崎 祐暢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年11月分】

1. 実施した活動の概要・状況

今月はずっとあった自分の事業に加え、依頼された事業が一気に入ってきてとても多忙な1ヶ月だった。前半はジオパーク秩父におけるジオパーク全国大会の視察と防災関係の事業の手伝いをする事が多く、中旬から自分の食育の事業、依頼された食育の事業、そして後半には自分の食育事業と依頼された事業とその準備があり。残業時間が多く、いつもの生活リズムで過ごせなかった。

（主な活動）

◇11月15日（水） まさかりの先っぽの料理教室①

脇野沢の四季に獲れる魚種を知ってもらい、その魚を使った料理教室を行うことで、子供たちの郷土愛の醸成と、地元での魚の消費拡大を目的とした事業を企画、実施した。その第1回目として、脇野沢では何が獲れているのか、四季に応じた変化はあるのかを、脇野沢小学校の放課後活動クラブである「cha ふらっと」の協力のもと実施した。脇野沢では春にヒラメが獲れ、夏から秋にかけて青物が獲れ、秋にはイカやイシダイ、カワハギなど、そして冬にはマダラが獲れる。魚の名前と季節だけでなく、パネルを作成し、ゲーム感覚で楽しませることができた。

「初めて知った魚があった」と話している子供が多く、脇野沢の漁業を脇野沢の子供たちが知る機会を提供できたことは本当に良かったなと思った。今後も脇野沢での事業を実施していきたい。



◇11月17日（金） 大間アゲ魚っ子キャンペーン 講師手伝い

8月に大間における海の子アカデミーの講師の際に関わった、島さんからの依頼で、脇野沢小学校におけるアゲ魚っ子の食育事業の講師を務めた。大間の「アゲ魚っ子キャンペーン」を脇野沢バージョンにし、子供たちにアゲ魚っ子キャンペーンの趣旨と、海をどうしていかないといけないのかを伝えた。

脇野沢小学校は1年生から6年生までのすべての子供たちが参加したため、難しくならず、かつ、飽きさせないような資料を作った。ビデオを見た後に〇×クイズを行い、ビデオの復習をかねつつ、脇野沢の海に興味を持つこと、脇野沢の「もったいない」を子供たちに教えることができた。

実際に給食を一緒に食べた際には、普段魚料理を残してしまう子や普段からあまり食べれない子でも、アゲ魚っ子ボールだけでなくその日の給食を全員が完食していた。「話を聞いて食べなきゃと思った」と話していたと聞いて、良い経験ができたなと感じた。今後も精進していきたい。



◇11月19日(日) 25日(土) 脇野沢の料理教室①②

まさかりの先っぽの料理教室の第2回、第3回であり、脇野沢の料理教室の第1回、第2回でもある、料理教室を、脇野沢の公民館で開催した。脇野沢小学校の放課後活動クラブである cha ふらっとの子どもたち7名とその保護者、一般参加のむつ市内の子どもたち5名とその保護者の計35名で行った。

19日は魚を捌いて刺身、寿司にして食べる料理教室を、25日は魚を捌いて、しゃぶしゃぶにして色々な薬味を用いて食べられることを知る料理教室を開催した。

アンケートの結果から、参加者の12名の子どもうち、3名は魚を捌いたことがあるとのこと、他9名は初めて魚を捌いた。参加した子ども全員から「家でも捌こうと思った」との回答と、「他の魚種の料理教室にも参加したい」との回答を得ることができた。

脇野沢の漁師の手伝いをする中で、脇野沢の子どもたちにも脇野沢の漁業を知ってもらいたいと強く思っていて、それを実現できたこと、そして子どもたちから「楽しかった」の声をいただけたことは、とてもよかったと思う。今後も子どもたちのための事業を実施していきたいと考える。



2. 翌月の活動予定

12月は積雪の季節に入る。年末も控えているため、あわただしくならないよう、準備をしっかりと年末そして年始を迎えたい。脇野沢のマダラの季節にもなるため、脇野沢の漁師のために活躍したいと思う。

本業と趣味である漁師の手伝いを両立させるためにも体調管理には気を付けたい。

12月 2日 ジオパーク学習発表会 ポスターセッション

12月 5日 脇野沢マダラ漁 場取り

12月13日 奥内小学校ユメココ教室 講師

12月16日 むつかつ指導者研修会